

パパママの防災

大人だけの場合とは異なり、小さな子ども連れの避難生活も大変です。防災グッズの準備や災害時の対策など、普段の子育ての中でゆとりがある時に備えておきましょう。

子どもを守る備え

子どもの食べ物を確保

ミルクや離乳食など、普段食べ慣れたものを用意しましょう。アレルギー対応食品も災害時は手に入りにくいので準備が必要です。



抱っこ紐を準備

安全に赤ちゃんを抱っこして避難するためにも抱っこ紐は必需品です。最近はポーチなどに収納できるコンパクトタイプが発売されています。



普段から使い慣れたものを

避難所での共同生活は赤ちゃんもストレスになります。普段から与えているお気に入りのおもちゃやお菓子で安心させてあげましょう。



和式トイレを使ってみる

避難所となる施設や学校のトイレは和式である場合が多いです。普段から和式トイレに慣れておくことも大切です。



身近なもので作ろう

レジ袋で作る、簡易おむつの作り方



大きめのレジ袋を用意し、持ち手と横側を切って開く。



中央にガーゼやタオルなどを置き、おしりを乗せ、持ち手でおなかを結ぶ。



下側の持ち手をT字帯の要領でお尻からおなかの前面に入れ込む。



余った部分を下に折り返す。

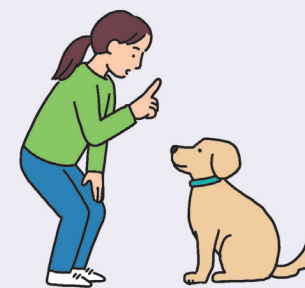
ペットの災害対策

災害時、ペットの命を守ることができるのは飼い主です。離れ離れにならないよう「同行避難」ができる準備をしておきましょう。普段からのしつけや健康管理などの備えも大切です。

飼い主の対策

しつけ

ケージやキャリーに慣れさせることや、決められた場所での排せつ、無駄吠えさせないなど、普段からのしつけをしっかりと行っておきましょう。



健康管理

避難所ではストレスで体調を崩しやすくなります。日頃からワクチンの接種や、寄生虫の予防、駆除などに努めましょう。



しつけや健康管理の例

- | | |
|--|--------------------------------------|
| ☐ 他の人や動物、声や音に慣らしておく | ☐ トイレに排泄ができる |
| ☐ ケージに入れることを嫌がらない | ☐ 予防接種・ワクチン接種 |
| ☐ 「待て」や「伏せ」などの基本的なしつけ | ☐ ノミ・ダニなどの駆除 |

普段からの備蓄

避難所でのペットの管理は飼い主の責任で行うことが原則。ペットに必要な物品については、少なくとも5日分は事前に準備しておきましょう。



所有者の明示

災害時に逃げてしまい行方不明になることがあります。所有者がいることがすぐわかるよう、犬なら鑑札や注射済票、猫なら迷子札をつけておきましょう。



備蓄品の例

- | | | |
|--|-------------------------------------|---------------------------------|
| ☐ 薬 | ☐ ブラシ | ☐ 洗濯ネット |
| ☐ フード、水、療法食 | ☐ ケージ、ペットシート | ☐ ガムテープ |
| ☐ 食器 | ☐ 排泄物の処理用具 | ☐ 首輪、リード |
| ☐ 飼い主や動物の情報を記した手帳 | ☐ トイレ用品 | |